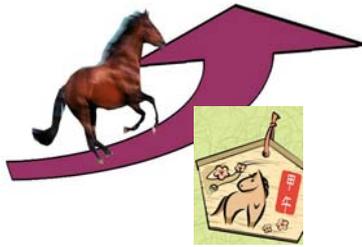


【From Kobe 2014 年 年初の便り】

2014 年 年のはじめに



“ Stay Young Day !! ”

古希を迎えて ぼやいてばかりはいられない 70 歳

まだまだ早い せくな 老楽 これからよ

あたらしい年の初め 好奇心さえあれば・・・と 前向いて

本年も よろしくお祈いします

今年はよくも悪しくも これからの日本の方向が見えてくる 目が離せぬ一年。
 どんな道をたどるのか・・・ 人任せ 頂点リーダーに頼らず、しっかり考えねば・・・と

「デフレを脱却して景気回復が着実にすすんでいる」と政府やマスコミは喧伝し、期待一杯の新年が始まりました。しかし、まだまだそんな浮かれた気分になれない。年寄りにとっては 頭の上を素通りして行くばかりか、もっと厳しい時代が来るのでは・・・との不安がたえず頭をよぎる。

いったい 誰がこの景気を謳歌できるのだろうか・・・

原発の収束・東日本大震災の人間復興は一向に進まず、旧態依然とした「大企業・金融など

東京が元気になれば、それが波及して 全体が良くなる」式の話ばかりで、これで乗り切れるとは思えない。

「世界へ羽ばたく 世界へ飛び出してゆく」とのカッコの良い言葉は良いが、このままでは、若者の働き口は

おろか、日本から若者が消えちゃってしまうのではないか???? そんな妄想も現実味を帯びてくる。

我々の知る大量生産・大量消費を御旗にスピード・効率・コスト低減の一極集中至上主義が破綻した今、

日本はどこへ向かうのだろうか・・・

そんな中で、政治は相変わらずの体たらく。益々数だのみの中央集権・村社会的発想を強め、即物的な対応に終始し、日本沈没の危機に直面している。「おもてなし」の言葉の大合唱であるが、「みせかけ」が幅を利かせ、「こころ」が失われている。

膨大な借金経営の中での更なる国債の大発行は、何のことはない 今高齢者層が蓄えている預貯金を当てにしているのだと聞く。若者に付けが行くという表向きの言葉とは裏腹に、今後高齢者人口のピークが下がってゆく中で これらの人が蓄えた預貯金が遺産相続を通じて膨大な資金として国庫に流れ込み、国としては帳尻は合ってくるのだという。まったく理念も知恵そして施策もなしの垂れ流し。

それならば、オリンピックや ばかげた政治家のばら撒き投資ではなく、差し迫った日本沈没の危機打開の施策に資金を投下してもらいたいものだ。

最近 大企業・金融中心の資金供与による景気回復策に疑問視する人が着実に増えてきた。

グローバル化した大企業の日本での投資・雇用意欲はますます減少一途であり、新産業論 新ビジネス開発が叫ばれだして久しいが、人を生かすビジネス論もなく、大企業に頼ってでは日本の再生は進まない。

日本の疲弊 地方の疲弊が叫ばれて久しいが、その原因である日本・地方から外への金の流出を止め、循環型の経済圏育成の手立てを講じない限り、日本・地方の活力は生まれえない。

特に膨大な金の流出が続くエネルギー・食糧の自給・循環の構築。そして循環流入が期待される医療への積極的な展開なくしては日本の未来は開けない。

さあ どうなってゆくのか・・・ 今年をよくも悪しくもこれからの日本の方向が見えてくる。

どんな道をたどるのか・・・目が離せぬ一年。 人任せ 頂点リーダーに頼らず、しっかり考えねばならぬ1年である。

そんなエンジンの担い手として アントレプレナー(起業家)としての若者たちのエネルギーに期待したい。

日本をそして地方を壊滅的危機に陥れた大災害の中で、新しい経験をつんだたくましい若者のたち

アメリカを復興させたシリコンバレーの若者たちに例を見るまでもなく、特に循環型経済圏の醸成には そんな若者たちの連携が不可欠であり、また それにより、ビジネスリスクも軽減されるであろう。

本年自由を旗印とする京大にそんな アントレプレナー育成の講座が設けられたと聞いた。

中央に頼らぬ新しい芽が噴出してくることを期待する。

みんな笑顔で暮らせる社会への変革を 若者たちのエネルギーに託したい そんな若者を応援する

また、年を重ねた我々も ぼやいてばかりはいられない 「まだまだ早い せくな 老楽 これからよ」

好奇心さえあれば 前向いて 無理せず 元気に